

オープンアクセス入門

— 学術情報をリポジトリから公開する —



目次

- ・ オープンアクセスとは？
- ・ オープンアクセスの意義
- ・ 学術成果をオープンアクセスにする方法
- ・ 機関リポジトリ Kernel
- ・ Kernelへの登録方法
- ・ 神戸大学オープンアクセス方針
- ・ よくある質問

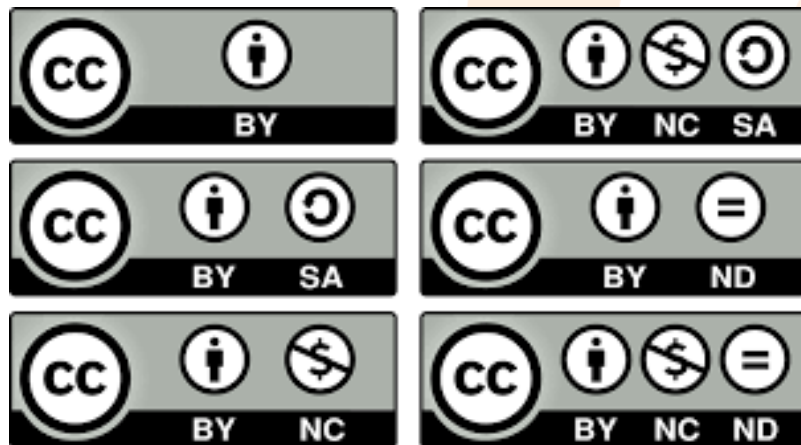
オープンアクセスとは？

オープンアクセスとは、インターネットを使うことで、誰もが、無料で、自由に学術情報にアクセスできるように学術情報をWeb上に公開することを指します。

オープンアクセスにも段階があり、その代表がクリエイティブ・コモンズ・ライセンスです。

クリエイティブ・コモンズ・ライセンス

クリエイティブ・コモンズ・ライセンスを使用するとオープンアクセスの条件を簡単に明示できます。



表示

作品のクレジットを
表示すること



非営利

営利目的での利用を
しないこと



改変禁止

元の作品を
改変しないこと



継承

元の作品と同じ組み合わせの
CCライセンスで公開すること

オープンアクセスの意義

- ・ 高額なジャーナルを購読していなくても学術情報にアクセスできるため、読者のアクセス可能性が向上する
- ・ 公的資金を利用した研究成果は広く世間に公表するべき、という社会の要請に応えられる
- ・ 研究成果の共有を促進し、その成果を社会に還元することで学際的な研究やイノベーションの創出が見込まれる



学術成果をオープンにすることで、大学などの研究機関に所属していない人や海外の研究者にも成果を届けやすくなり学術・研究の発展により寄与できる可能性が上がる

学術情報をオープンアクセスにする方法

学術情報をオープンアクセスにして発信するには、主に2通りの方法があります。

・OAジャーナルへの投稿（ゴールドOA）

- ・ オープンアクセスジャーナルやハイブリッドジャーナルと呼ばれるジャーナルに論文を投稿することで、出版と同時にオープンアクセスとして論文を公開できる（即時OA）
- ・ 著者が\$1,000～5,000程度のAPC（論文掲載料）を負担する必要がある

・セルフアーカイブ（グリーンOA）

- ・ 著者自身のWebサイトや所属機関のリポジトリに論文をアップし、無料で公開できる
- ・ 出版社の定めるエンバーゴ（猶予期間）を守る必要があり、出版社版ではなく著者最終稿の公開を求められるなど制限が多い

機関リポジトリ Kernel (<https://da.lib.kobe-u.ac.jp/da/kernel/>)

神戸大学が提供するグリーンOA実現のための機関リポジトリ

The screenshot shows the homepage of the Kernel repository. At the top, there is a navigation bar with the text '神戸大学附属図書館デジタルアーカイブ' and the logo '神戸大学学術成果リポジトリ KERNEL - Kobe University Repository'. On the right side of the navigation bar, there are icons for '入力補助' and 'English'. Below the navigation bar, there are two tabs: 'カテゴリ' and 'ランキング'. A search bar is located in the center, with a magnifying glass icon and the text '神戸大学の研究者が生産した論文などの学術成果を収集し広く公開するデータベースです。'. Below the search bar, there are two buttons: '簡易検索' and '詳細検索'. A search input field is positioned below these buttons, with a '検索' button and a 'クリア' button to its right. At the bottom left of the search area, there is a checkbox labeled '本文あり'.

• 登録できる方

- 神戸大学に在籍中か在籍していた教職員（非常勤も含む）
- 神戸大学の大学院研究科に在籍中か在籍していた大学院学生と研究生
- その他、附属図書館長が適当と認めた方

• 登録できる学術成果

学術雑誌論文 / 紀要論文 / 博士学位論文 / 図書 / 学術報告書 / 科学研究費補助金研究成果報告書（最終報告書） / データ / 教材 / ソフトウェア / その他公開可能な教育・研究成果

Kernelへの登録方法

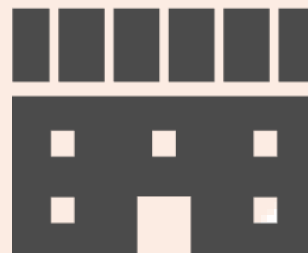
1. 附属図書館電子図書館担当に登録したい学術成果と本文ファイル掲載誌名・巻号などの情報をお知らせください
2. 図書館でリポジトリへの登録可否の確認や条件を確認します
- 3-a. 登録可能であれば図書館でKernelに学術成果を登録します
- 3-b. 登録できるバージョンに決まりがある場合はその旨をご連絡し、登録可能なバージョンの本文ファイルを受領次第Kernelに登録します
4. 登録した学術成果はDOIやHandleなどの永続識別子によってアクセスが保証され、恒久的に管理・公開されます



登録者



① 登録したい文献とその情報を送付



附属図書館

② 条件・登録可否の確認・問合せ



学会・出版社



③ 学術情報の保存・公開



Kernel

神戸大学オープンアクセス方針 (<https://lib.kobe-u.ac.jp/da/oapolicy/>)

神戸大学は、学内の研究成果を網羅的に収集し機関リポジトリを通じて公開することにより、学術研究の発展に寄与するとともに本学の認知度の向上を図るため、2017年1月10日にオープンアクセス方針を採択しました。

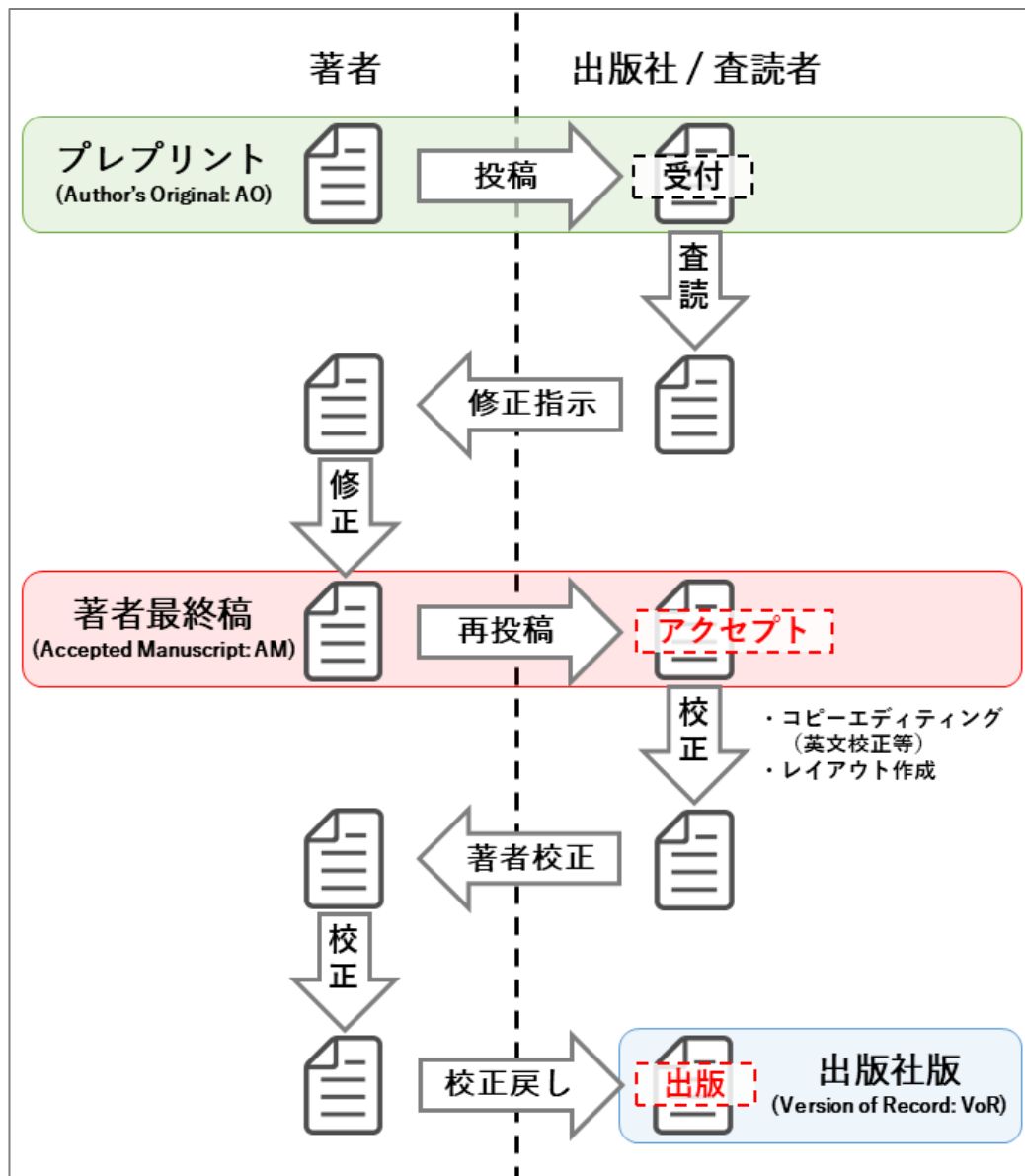
具体的には……

- ・ 神戸大学の教員が主著または共著で執筆した
- ・ 2017年2月1日以降に出版された学術論文を
- ・ 機関リポジトリ Kernel にすみやかに登録し、公開することを求めている

よくある質問

- ・ 共著者がいる場合も登録は可能か？
⇒ 可能ですが、共同著作のため、共著者の同意が必要です
 - ・ 動画やスライド資料も登録可能か？
⇒ 可能です
 - ・ 出版社が著作権を持っているので登録できない
⇒ 多くの出版社は著者最終稿のセルフアーカイブを認めています。
附属図書館で条件等を調査しますので、一度ご相談ください
 - ・ 著者最終稿とは？雑誌に掲載されたものとは違うのか？
⇒ 著者最終稿とは、出版社に最終的に受理 (Accept) された際に
出版社に提出した原稿です (次スライド参照)
- ⇒ その他不明な点は FAQ (<https://lib.kobe-u.ac.jp/da/kernel/faq/>) を
ご参照ください。

プレプリントと著者最終稿, 出版社版



・プレプリント (AO)

- ・ 査読を通過する前の論文
- ・ いつでも公開可能であることが多い

・著者最終稿 (AM)

- ・ 査読を通過して受理 (アクセプト) された原稿の版
- ・ エンバーゴの後に、出版社版へのリンクを付与することなどを条件に公開が許諾されることが多い

・出版社版 (VoR)

- ・ レイアウト等を施されて、ジャーナルに掲載された版
- ・ 公開不可のことが多い